

【図2】 南ユダ王国の年代表

●南王国は、北イスラエル王国と違って王朝の交代がない。ただ、アハズヤのあとのアタルヤによる治世6年間は、ダビデ王朝が中断した唯一の期間である。マタイ福音書の系図と比較すると、系図の方ではNo. 6～No. 9が省略されている。省略の理由として、この4人が家来によって殺されたことが考えられる。●王の評価の基準は、「主に忠実だったか、偶像礼拝に傾いたか否か」であり、必ずしも王の政治的手腕や世俗的業績についての評価ではない。ユダ王国の宗教改革は、周辺諸国、特に、アッシリヤやエジプトの衰退と密接な関係がある。

	王名	即位	治世期間	評価	預言者の活動	南北関係	備考
1	レハブアム	931	13年	悪	イザヤ ミカ 預言者 空白時代 エレミヤ (624活動) エゼキエル	対立時代	ユダ王国第三代目の王
2	アビヤム	913	3年	悪		分裂王国時代	
3	アサ	911	41年	○善			徹底的な宗教改革を断行
4	ヨシャパテ	872	25年	○善		協調時代	宗教改革の報酬としての平和と繁栄
5	ヨラム(病死)	854	8年	悪			妻の影響でバアル礼拝を許容する
6	アハズヤ(暗殺)	841	1年	悪			
7	アタルヤ(暗殺)	841	6年	●最悪		対立時代	ヨラム(南王国の王)の妻、イゼベルの娘
8	ヨアシユ(暗殺)	835	40年	○善			大祭司エホヤダにより即位する
9	アマツヤ(暗殺)	796	29年	○善			
10	ウジヤ(アザルヤ)	790	51年	○善			晩年、高慢になりらい病になる
11	ヨタム	750	16年	○善			民は偶像礼拝と不正に走った
12	アハズ	735	16年	悪			バアル礼拝を再び導入
13	ヒゼキヤ	729	29年	善			宗教改革 エジプトと同盟を結ぶ
14	マナセ	696	55年	●最悪			アッシリヤに従属する偶像礼拝を再び導入
15	アモン(暗殺)	641	2年	悪			アッシリヤの国家宗教を導入
16	ヨシヤ(暗殺)	639	31年	◎最善			律法の書による宗教改革を断行する
17	エホアハズ(獄死)	608	3ヶ月	悪			エジプトの属国となる
18	エホヤキム	608	11年	悪			エジプトによって即位せられる
19	エホヤキン	598	3ヶ月	悪			エレミヤの預言の巻き物を焼く
20	ゼデキヤ(獄死)	597	11年	悪			ネブカデネザル王に反抗し捕囚の身となる
		586年エルサレム陥落(神殿が破壊される)バビロン捕囚(列王記第二 25章,28節)					